

ムムム・・・わかった！

6年生の算数科の学習で「小数の倍」という単元があります。「もとにする量」や「くらべられる量」「割合」について求める単元で、6年生の学習でもかなり難しい単元となります。今日の授業では、もとにする量を求める学習だったのですが、子供たちは、線分図や問題文を何度も見たり、書いたりしながら、最初は「ムムム・・・・・・」と悩んでいましたが、その後、友達や先生と対話をする中で「わかった！」「なるほど！」という声が教室のいろいろな場所に出てきて、式を立て、答えを求めています。

難しい内容でしたが、みんなで対話をして考えを深めていき、最後には練習問題を自分で解決をすることができていました。対話の良さを改めて感じる事ができた学習でした。

